

大阪府立中央図書館



この度、東大阪市に新しく建設された大阪府立中央図書館は、生涯学習・高度情報化時代にふさわしい総合的な図書館サービスを目指して、平成8年5月10日、自治体規模としては最大の図書館としてオープンしました。

訪れた際、まず驚いたのが、その美しさと大きさです。外観は図書館を象徴する本を横に積み重ねた姿をイメージしているようで、その全体像はなかなか捉えにくいのですが、一階に図書館の模型がありましたので、一度ご覧になれば面白いと思います。

◆ 概要

建物は地上4階、地下2階で、1階には図書館には珍しく、多目的ホール（「ライティホール」380席）が設置されています。各階の案内は表1の通りです。

BDS（ブック テレクション システム）を通して中に入りますが、初めて訪れた方は、まず2階の総合カウンターを目指して下さい。ここでは館内の利用案内と、「利用者カード」の発行をしてもらえます。

一日の利用者は平均2,000～3,000人で、オープン時は5,000人も利用者があったそうです。

開館時の蔵書冊数は約130万冊で、これらは中之島図書館から引き継いだ70万冊、旧夕陽丘図書館から60万冊を移転させたものです。その内、開架図書が30万冊、閉架図書は100

万冊です。大阪府が出版全点収集を方針として打ち出したため、今後は年間約4万冊の購入本とその他寄贈本が所蔵されていきます。図書館全体の収蔵能力は最大350万冊ですが、これは今後50～60年分が大丈夫な量だと聞き、驚いてしまいました。

◆ 印象

広々としたエントランスに入ると、さっきまでの騒がしい日常から切り離され、これから向かう未知の空間に導かれるようで、期待で胸が高鳴りました。ここには今は、大阪府のトリエンナーレで入賞した作品が展示されています。かなり目を引く作品で、これも非日常へ誘うお手伝いをしてくれるようです。

この図書館のテーマカラーがグリーンだということで、安らぎを感じさせるこの色が、意識させない色調でAV室のブースや床などに巧く使われています。また目に優しい本物の緑も邪魔にならないように配置され、細かい配慮がなされているように感じました。さらに、障害者の方が利用しやすいように、車椅子でも通れるスロープや専用のトイレが設置され、目の不自由な方のためには対面朗読を行うなど、人に優しい図書館づくりをされています。

一番印象的だったのは、館全体が明るく開放的なことです。特に、特別に見せていただいた地下1階の資料を収集・整理する資料情

【表1】

4階	人文系資料室
3階	社会・自然系資料室、複写室、 屋上庭園
2階	総合カウンター、データベース室 オーディオ・ビジュアル室、会議室 光ディスク・マイクロリーダー室
1階	小説・読物室、こども資料室 対面朗読室、ホール、レストラン
B1階	書庫、整理事務室
B2階	地下駐車場（120台）

報課事務室は、採光がとても巧みで、地下にもかかわらず非常に明るく、職員の方々が活き活きと作業されている姿は、見ていてとても羨ましくなりました。

◆ 高度情報化時代に対応して

資料の検索はカード目録の他に、各フロアにあるコンピュータ端末機を使って行えます。入力式とタッチ式があり、コンピュータに馴れていない人でも気軽に触れることができます。

2階はニューメディアへの窓口となっており、府立図書館としては初めて、利用者用のオーディオ・ビジュアル室が作られました。また、光ディスク・マイクロリーダー室では、中之島図書館所蔵の貴重書などを画面で見ることができます。そして、データベース室では国立国会図書館や学術情報センターなどのデータベースの検索ができます。

さらにO-NET24（大阪府行政情報提供システム）に接続したパソコンもあります。このO-NET24は個人のパソコンからもア

クセスでき、その中のO-L-NET（大阪府立図書館パソコン通信ネットワークシステム）を選ぶと、府立図書館（中央・中之島）の所蔵資料の内、120万冊の検索が自宅や職場に居ながらにすることができます。手続き不要で電話料金のみで利用できますので、病院図書室にとっても心強い味方だと思います。

◆ 府内市町村立図書館への協力・支援の促進

どれほど大規模な図書館でも、遠くではなかなか利用することができません。しかしここでは、週に1回必ず府下の市町村立図書館等を回り、リクエストサービスと合わせて、府立図書館の資料の貸出、返却サービスを行う物流ネットワークが整備され、府民の要望に応じています。

◆ 今までの府立図書館は？

中央図書館の開館に伴い、府立図書館の内、大阪府立中之島図書館は名称は同じですが、大阪関係資料、古典籍および一般書を集めた図書館として再スタートし、夕陽丘図書館は特許資料部門を引継いで、大阪府立特許情報センターとしてサービスを開始しています。

◆ 今後の発展

図書館自体は東大阪新都心の文化ゾーンの中核的な存在として位置づけられているようですが、まだ周りの整備はこれからといったところです。今後、隣接して東大阪市役所やスポーツ施設などが建てられる予定になっており、周囲が充実してくれば、更に利用者が増えていくことでしょう。

最後になりましたが、ご多忙のところ細部にわたり案内していただきました安田さんに、改めてお礼を申し上げます。

（文責：熊井亜由美・本誌編集部）

《MEMO》

◇ 所在地・電話・FAX

〒577 東大阪市荒本北57-3番地
TEL. 06-745-0170 (代表)
06-745-9220 (資料の利用)
06-745-9282 (対面朗読)
FAX. 06-745-0262

◇ 開館時間

火曜日～金曜日 午前9時～午後7時
土曜日・日曜日 午前9時～午後5時

こども資料室は

火曜日～日曜日 午前9時～午後5時

ホールは

火曜日～日曜日 午前9時～午後9時

◇ 休館日

月曜日(その日が休日のときはその翌日も)、毎月末日、祝日、年末年始、特別整理期間

◇ 貸出

中之島図書館と合わせて、一人8冊
(うち、オーディオ・ビジュアル資料は2点まで)

貸出期間は3週間

◇ 複写

料金：1枚30円
時間：火～金 午前9時～午後6時30分
土・日 午前9時～午後4時30分

◇ 交通

地下鉄中央線(近鉄東大阪線) 荒本駅下車
北西徒歩5分

◇ O-NET24の問い合わせ先(大阪府)

情報政策課 TEL 06-941-0351(内線5108)
府民情報室 TEL 06-941-0351(内線2041)
<月曜～金曜 午前9時～午後6時>

